

「ふれ愛」 広がるウエルビーイングなまちづくり

2月26日(水)、令和7年岩倉市議会第1回定例会で久保田市長が3期目の所信表明を発表しました。今回の特集では、所信表明の内容と令和7年度予算の概要をお伝えします。

所信表明

(要旨)



3期目の私のマニフェストでは、まちづくりの目標を「住むなら岩倉！子育て・健幸・安心なまち3.0」とし、これまでの目標を更にバージョンアップするとともに、新たに副題として『「ふれ愛」 広がるウエルビーイングなまちづくり』を掲げました。

ウエルビーイングとは、身体的・精神的・社会的な健康などの要素を総合的に評価した人間の幸福感や充足感を指すものです。本市は、コンパクトであるからこそ、人と人との距離が近く、ふれ愛や絆が生まれやすいという特色があります。そして、人と人との間で生まれたふれ愛や絆が、そこに留まることなく連鎖し、まち全体に広がることで、誰一人取り残されることなく、誰もが幸せを実感できるウエルビーイングなまち「岩倉」の実現に近づいていくものと考えています。

現代社会は、多様な価値観やライフスタイルが交錯する中、止まることのない少子化、地球規模での環境問題、コミュニケーションの希薄化など様々な課題に直面し、私たちのまち、私たち一人一人にも大きな影響を及ぼしています。こうした課題は、自治体単独で解決できるものではありませんが、市民に一番近い基礎自治体としての役割や責任もあると考えています。小さなまちだからと諦めることなく、課題に向き合い、果敢に挑戦してまいります。

住むなら岩倉！ 子育て・健幸・安心なまち 3.0 5 本柱

1 子どもの生み育てる 喜びを実感できるまち

- 子育て家庭に寄り添い、仕事と子育ての両立ができる環境を整備
- 子育て支援センターの支援機能の拡充
- 放課後に加え、朝時間追加と内容充実で子どもたちの居場所の拡大
- ふるさといわくら応援寄附金を活用した質の高い学校給食の提供
- 小学校のトイレを早期に改修

2 五条川そして地域に 笑顔があふれるまち

- (仮称)にぎわい広場の整備に向けた構想の具体化
- 幼川橋まで健幸ロードを延伸し、将来的には、更に南部地域までの延伸も検討
- 区の役員など担い手の役割の見直しを含めた新しい地域づくり
- 文化・スポーツの振興を通じた生きがいや居場所づくり

3 すべての市民が健やかに 安心して暮らせるまち

- 健康寿命の延伸に向けた継続的な取組と、地域全体での健幸づくり
- 地域交通の充実に向けた、さまざまな可能性の検討
- 安全・安心のため防災・防犯対策を強化
- 誰一人取り残さないきめ細かな福祉行政

4 地球にやさしい きれいなまち

- 地球温暖化対策実行計画に基づく取組の強化による「ゼロカーボンシティ」の実現
- 資源の有効活用と環境負荷軽減のためのごみを発生させない取組やリサイクル率の向上の推進
- ごみ集積場所、道路、公園など公共の場所の美化と新たなクリーンアッププロジェクトの検討

5 持続可能なまち

- SDGsの理念に基づき、社会的課題の解決と経済活動の両立を図る
- 名神高速道路尾張一宮パーキングエリアへのスマートインターチェンジの整備による尾張北西部地域の経済の活性化
- 商工業の振興による雇用の拡大
- 地域資源を活用した農業の活性化
- 施策や事業の見直しによる、効率的かつ効果的で社会や経済の変化に即した行政運営

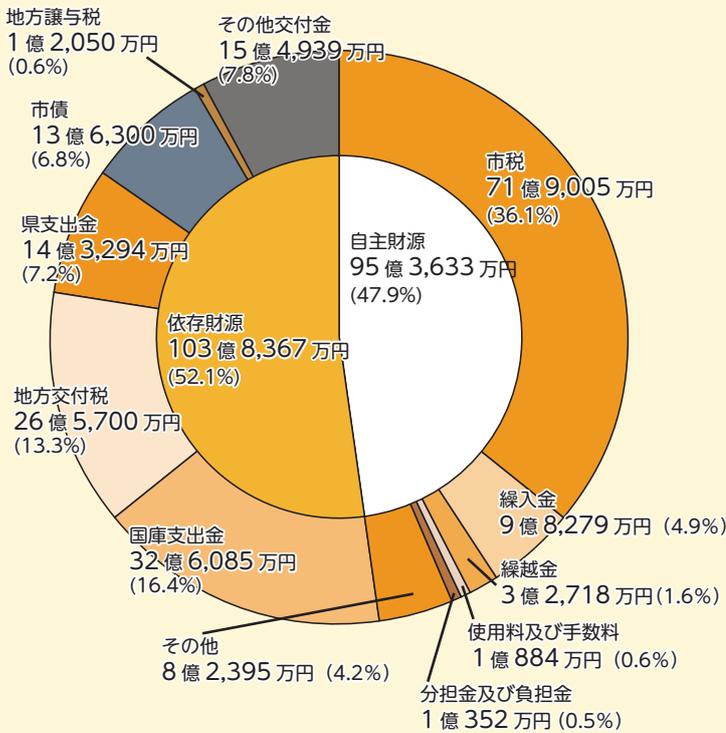
# 予算の概要

※端数処理（四捨五入等）により、合計が合わないことがあります。

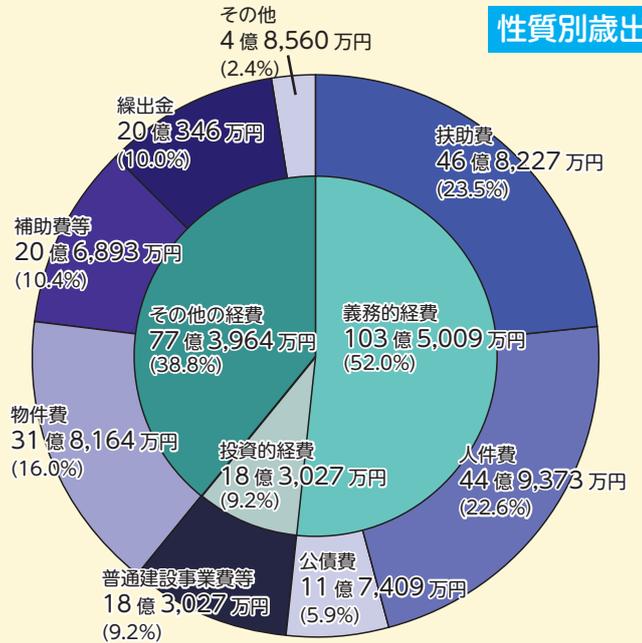
## 令和7年度当初予算 325億8,730万円 (前年度比+8.2%)

### 一般会計歳入 199億2,000万円 +12.9%

### 一般会計歳出 199億2,000万円 +12.9%



### 性質別歳出



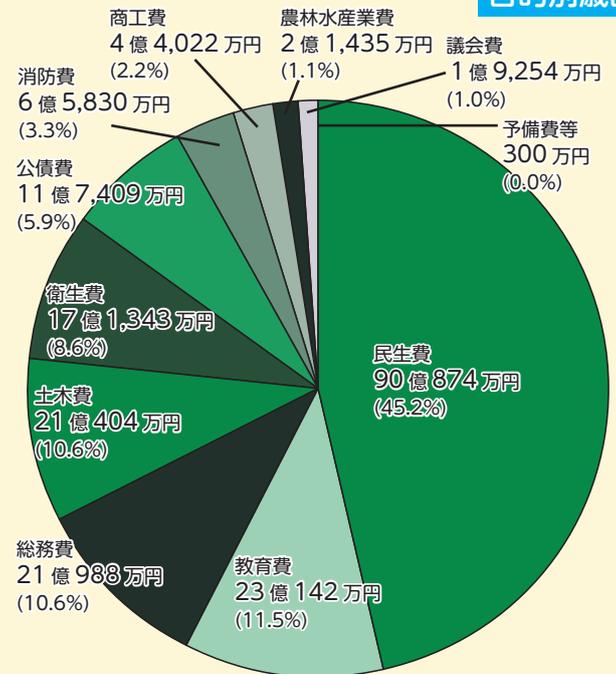
### 特別会計の予算

項目	金額 (千円)	前年度比 (%)
国民健康保険	42億588万3千円	-0.7%
土地取得	210万4千円	177.2%
介護保険	39億7,094万2千円	2.7%
後期高齢者医療	10億8,318万6千円	17.9%
合計	92億6,211万5千円	2.7%

### 企業会計の予算

項目	金額 (千円)	前年度比 (%)
上水道事業	11億6,079万9千円	-8.0%
公共下水道事業	22億4,439万円	2.5%
合計	34億518万9千円	-1.3%

### 目的別歳出



予算の詳細内容は  
市ホームページをご覧ください。



## 01 健やかでいつまでも安心して暮らせるまち（健康・福祉）

産後ケア事業助成金（健康課）  
19万円



新たに里帰り先などで産後ケアを利用した場合も助成の対象とすることで、産後も安心して子育てできる環境を整え、切れ目のない支援の充実を図ります。

健康いわくら 21（第3次）  
推進シンポジウム開催事業（健康課）  
7万7千円

令和7年度を計画初年度とする「健康いわくら 21（第3次）」の周知や推進のためのシンポジウムを開催し、市民、団体、事業所等とのマルチパートナーシップにより、これまで以上に市民の健康の保持、増進に取り組んでいきます。

視覚障がい者歩行訓練事業（福祉課）  
49万4千円



歩行訓練士による白杖を使用した歩行訓練や目的地を決めて実際に目的地へ向かう実地訓練を実施し、視覚に障がいのある人の社会参加の促進につなげていきます。

帯状疱疹ワクチン接種事業（健康課） 3,019万4千円 ※詳細は広報いわくら3月号をご覧ください。

## 02 個性が輝き心豊かな人を育むまち（子育て・教育・文化・スポーツ）

五条川小学校区統合保育園整備事業（こども家庭課）  
1億2,181万1千円



令和9年4月の開園に向け、実施設計（主に開発許可申請等）や遺跡発掘調査（主に調査報告書類の作成）を行うほか、令和8年度の園舎建築工事に向け、用地造成工事を行います。

こどもまんなかアクション推進  
シンポジウム開催事業  
（こども家庭課）  
180万円

「子ども未来応援計画」の周知や「こどもまんなかアクション」のさらなる推進を図るため、子育てに関するシンポジウムを開催し、まちの宝である子どもたちや子育て家庭、さらには、これから子育てを行う人を地域ぐるみでサポートする機運を高めていきます。

岩倉南小学校西館・南館  
大規模改修事業（学校教育課）  
1,571万9千円



令和8年度に予定している岩倉南小学校の西館・南館の内装や外壁、トイレの改修工事の準備として、設計業務を行います。

小中学校屋内運動場等  
空調設備設置事業（学校教育課）  
6億7,587万5千円

近年の猛暑を受け、教育環境と避難所機能を向上させるため、全ての小中学校の屋内運動場と両中学校の武道場に空調設備を設置します。

## 03 利便性が高く魅力的で活力あふれるまち（都市基盤・産業）

名神高速道路スマートインターチェンジ  
設置検討事業（都市整備課）  
4,775万4千円



スマートインターチェンジおよび周辺施設の設計検討などを行うとともに、準備会で検討を重ね、早期事業化に向けて取り組んでいきます。

ヨーヨー普及啓発事業（商工農政課）  
22万円



市内在住のヨーヨー世界チャンピオンタイトルホルダー3人が、3年間で市内全小学校を訪問してパフォーマンスイベントや、市内の小学4年生を対象にスターイベントを開催します。

※小学4年生への桜ストリームの配布はありません。

桜まつり事業（商工農政課） 2,639万8千円 ※詳細は広報いわくら3月号をご覧ください。

# 新規・重点施策 (第5次岩倉市総合計画の5つの基本目標)

基本目標

04

## 環境にやさしいうるおいあふれる安全なまち (環境・防災防犯)

### 石仏公園整備事業 (都市整備課)

7億2,114万9千円

令和8年4月の開園に向けて、サッカーグラウンドや球場の整備を進めるほか、健康遊具を設置する芝生広場では、市民参加により芝張りイベントを行います。



### ゼロカーボンシティ推進プロジェクト事業 (環境政策課)

277万3千円

ゼロカーボンに対する理解を深めるためのカードゲームを用いた研修会の開催や五条川の桜をアップサイクルさせた「五条川さくらマイボトル」を作成し、桜の廃材の有効活用やマイボトルの普及促進につなげていきます。



▲五条川さくらマイボトルイメージ

### プラスチック使用製品廃棄物再商品化事業 (環境政策課)

2,068万5千円

※詳細は広報いわくら2月号をご覧ください。

基本目標

05

## 協働と自治による持続可能なまち (協働・行財政運営)

### 消防職員大型自動車免許取得費助成事業

(消防本部総務課)

45万円



円滑に消防業務を推進するため、消防職員が消防車両の運行に必要な大型自動車免許を取得した場合、その経費の一部を助成する制度を導入します。

### 地域力活性化支援事業 (協働安全課)

176万円



岩倉北小学校区でワークショップを開催し、地域内での共助に取り組み、新たな地域のあり方を検討します。

### キャッシュレス決済対応窓口拡大事業

(行政課・会計管財課)

96万円

市役所のほぼ全ての窓口拡充するとともに、新たに生涯学習センター、保健センター、市民プラザの窓口でキャッシュレス決済に対応し、利便性の向上を図ります。



### 議会タブレット端末導入事業

(議会事務局)

805万2千円

議会活動支援ツールおよびタブレット端末を導入し、議会における会議資料等のペーパーレス化や議会運営の効率化の向上を図ります。



### パートナーシップ・ファミリーシップ事業 (協働安全課)

6万3千円

※詳細はP9をご覧ください。

## ◆物価高騰支援事業 (物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業)

●物価高騰生活応援防犯対策臨時補助事業 (協働安全課) …500万円 ※詳細はP7をご覧ください。

●物価高騰生活応援防災対策臨時補助事業 (協働安全課) …500万円 ※詳細はP7をご覧ください。

●キャッシュレス決済ポイント還元事業 (商工農政課) …2,275万円

6月(予定)に対象店舗でキャッシュレス決済を利用した際に、10%のポイントを還元し、市内店舗における消費喚起と、物価高騰の影響を受けた市民の経済的支援を行います。

●水道料金(基本料金)免除事業(上下水道課) …5,309万9千円

水道料金のうち基本料金2期(4カ月)を免除し、物価高騰の影響などを受けた市民および事業者の経済的な負担を軽減します。

●学校給食費支援事業(学校教育課) …2,051万3千円

令和7年度から小中学校の給食費を1食当たり30円増額しますが、児童生徒の給食費のうち増額分は、市が負担することで、保護者の負担を増やすことなく、安全で美味しい、質の高い給食を提供します。

※記載内容は3月議会で提出された予算(案)に基づく